

資 料

7 市 町 村 の 沿 革 ・ 現 状 に つ い て

(富 山 市 ・ 大 沢 野 町 ・ 大 山 町 ・ 八 尾 町 ・ 婦 中 町 ・ 山 田 村 ・ 細 入 村)

1、各市町村の沿革・	1
2、各市町村の合併史・	9
3、各市町村の現状	
(1) 人口・世帯・面積など・	1 1
(2) 就業者人口・	1 2
(3) 地域経済・	1 3
(4) 土地利用・	1 4
(5) 財政状況・	1 5
(6) 主要公共施設の状況・	1 6
(7) 一部事務組合の状況・	2 0
(8) 文化など・	2 1

富山市の沿革

天分元年、越中の豪族水越越前守勝重が初めて城を築き勢力を振ったのが、城下町として栄える発端となりました。

その後、天正9年織田信長の勇将佐々成政が入城し、政治・経済・文化に強力な施策を実行して、発展充実しました。

寛永17年加賀藩主前田利常の次子利次が、富山10万石の初代藩主となって以来、富山藩13代、230年の居城として近世城下町への発展を続け、明治維新を迎えました。

明治4年7月、廃藩置県令が発令されると新川県が置かれ、明治9年新川県は石川県に併合されましたが、明治16年石川県から現在の富山県の所管となり、県庁所在地として今日に至っています。

富山市は、明治22年4月の市制実施に伴い、上新川郡9か村、婦負郡2か村を併せて人口5万7千人の市として誕生しました。その後、人口は昭和20年には16万8千人と増加し、着々と北陸の重要都市としての地歩を固めてまいりましたが、同年8月の大空襲で一夜にして焦土と化してしまいました。

戦後、いち早く戦災復興にとりかかり、市民の不屈の努力によって市勢は飛躍的に発展し、昭和39年の新産業都市の指定を機に、日本海側有数の都市として重要な役割を占めるようになりました。

その後、昭和54年には人口が30万人を超え、さらに平成8年4月には、地方分権の先駆けとなる「中核市」に移行しました。

本市では、平成13年度にスタートした富山市総合計画新世紀プランで定められた「きらりと輝く・人・まち・とやま」という都市像を

めざし、『健康と福祉の充実したまち』『生活と環境に配慮したまち』『個性と創造性を育むまち』『人びとが集い賑わうまち』『活力ある産業振興のまち』の5つのまちづくりを目標に、各種施策に取り組んでいます。

地方分権が本格化する中、21世紀における「地方の時代」に応え、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、

政策形成プロセス等の議論をオープンにし、透明性の高い行政運営を行う

適時・適切な情報提供に努め、対話による市政参画機会の充実を図るため、対話集会（タウンミーティング）を開催する

など、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に努め、環日本海地域における求心力ある中核的な都市を目指しています。

大 沢 野 町 の 沿 革

当町は、富山県の中南部に位置し、北は県都富山市、南は岐阜県と境を接する東西7 km、南北21 kmの細長い町です。町の西部を流れる神通川は、南の山地帯で峡谷美を形成し、平野部に出て三段の河岸段丘を作り富山湾に流れ込んでいます。この川に沿って飛騨山脈から吹き降ろす南風は、しばしば風害をもたらすほど強く、「風」の町として知られています。

神通峡を見下ろす猿倉山の麓には、先土器時代・縄文時代の住民の生活の場があったことを示す直坂遺跡（国指定）などの遺跡もあり、古くから開けていました。また、飛騨より越中に入る関門であったため、戦国争乱の時代にはしばしば合戦の場となったこともあります。

江戸時代には加賀・富山藩の分割支配地であったが、両藩とも新田開発に積極的で、地区農民も相呼応して塩野・舟倉野・中筋等の大規模な開拓が相次いで行われ、この開拓のために大久保・舟倉・宮腰の各用水の開墾がされました。

明治維新後は、遠大な計画に基づき大沢野用水の改修や耕地整理を中心に工事が進められ、大正末期にようやく完成を見ました。ちょうどこの頃から豊富な水資源が注目されはじめ、発電所や変電所が数多く建設され、それに伴い工場が次々に進出し、一躍田園都市として、また近代的工業都市として第一歩を踏み出しています。

明治21年4月に町村制が発布され上新川郡となり、昭和28年12月1日に全国でも例の少ない郡境を異にする婦負郡黒瀬谷村の東部が分村編入し、昭和29年4月1日に大沢野町、船嶽村、下夕村の

1町2村で新しい大沢野町をつくり、同年12月10日に大久保町を編入合併して現在に至っています。

中心部を北陸と中京圏を結ぶ大動脈、国道41号線が縦貫し、近接して富山ICや富山空港があり、近年の企業進出と相まって住宅団地の造成が進み、県都富山市の近郊都市としても人口が増加しています。

「町政のあゆみ」

- | | | |
|----|-----|------------------------------------|
| 昭和 | 29年 | 2町3村が合併し大沢野町誕生 |
| | 35年 | 日本初の工業センター団地造成 |
| | 42年 | 町章制定、神通峡が県定公園に指定 |
| | 48年 | 新庁舎が落成 |
| | 55年 | 町民文化会館が完成 |
| | 59年 | 都市計画地域の用途地域を決定 |
| | 63年 | 大沢野運動公園陸上競技場供用開始 |
| 平成 | 元年 | 春日地区で新源泉の掘削に成功 |
| | 2年 | 生涯学習センター「情報見聞館」完成
ふるさと創生「風の城」完成 |
| | 4年 | ウェリントン・カウンスル(オーストラリア)と姉妹都市提携 |
| | 5年 | 地域福祉計画を策定(県下で最初)
大沢野小学校新体育館新築落成 |
| | 7年 | 大沢野運動公園野球場完成 |
| | 9年 | 大沢野町健康福祉センター完成 |
| | 11年 | 大沢野小学校新校舎改築落成 |
| | 12年 | 第4次大沢野町総合計画策定 |
| | 14年 | 富山ケーブルテレビ開局 |

大 山 町 の 沿 革

熊野川沿いの文珠寺、黒牧や福沢の山すそには、古代先住民が生活をしてきたことを示す縄文土器が発見されている。古代になると越中国新川郡に属しており、行基菩薩による仏教が栄えていた。中世の頃は越中国東郡に属していたが、戦乱が起こるや各地も相当乱れ、砦が築かれて戦いが続いた。

江戸時代前田藩の統治により、平穏になり、更に加賀藩、富山藩の両藩の管轄に属することになった。この藩政時代は、農業や鉱業も盛んになり民生は安定していた。一方、安永年間（1772年～1781年）には、上滝に市場が開かれ、戸数も増し、街並みが整えられた。

明治4年の戸籍制度により戸長役場が各地に設けられていたが、同22年4月、町村制が実施され、旧上滝町、大山、大庄及び福沢村ができ、これらの4町村が合併し、昭和30年1月大山町が誕生した。同32年4月富南村の一部である大場地区を編入し、富山県土の7分の1を占めることとなった。

昭和33年には、町の顔として、役場庁舎（現在位置）が竣工し、大川寺公園で国体馬術競技も開催されたが、国体競技については、その後、昭和51年、平成12年にスキー競技が開催されている。

大山町の恵まれた自然環境を活かし、大正時代より電源開発（水力発電）が行われてきたが、昭和36年には県内有数のダムとなる有峰ダムが竣工した。その後も電源開発が行われ、発電施設にかかる大規模償却資産により税収が増え、同57年には普通交付税の不交付団体となった。

また、豊富な積雪がある山麓地区においては、昭和35年に粟巣野スキー場が、同40年に極楽坂スキー場が、そして同52年に県営ゴンドラスキー場（現らいちょうバレースキー場）がオープンし、北陸最大級のスキー施設となり、国体やインターハイなどの全国規模のスキー競技大会が開催されている。

観光面では、秘境有峰への入り口として古くから栄えてきた亀谷地域において昭和47年に温泉が湧き、観光化の拠点を担うとともに、同51年に大山町、富山市による富山・大山国民宿舎「白樺ハイツ」が竣工した。そしてスキー場では、民間の宿泊施設に加え、平成元年に富山厚生年金休暇センターがオープンし、山麓地帯は観光エリアとして発展をとげてきた。

また、東黒牧地区においては、研究学園都市構想を掲げ様々な取り組みを行ってきており、平成2年の富山国際大学開学を皮切りに、その後、企業の研修施設が建設され、同8年には全国にも類のない大工や庭師といった職人を養成する富山国際職藝学院が開校し、名実ともに研究学園都市を形成し発展してきた。

近年では新たな発見として、平成7年に福沢地区において、国内最大級の恐竜足跡化石群が発見され、保存や活用に取り組むとともに、さらなる発見を目指し、現在も発掘調査を行なっている。

大山町では、「はつらつと健康で心豊かなひとづくり」、「いきいきと暮らせる住みよいまちづくり」、「たくましく優れた活力ある産業づくり」、「未来へはばたく「おおやま」のイメージづくり」の4つの基本目標に基づき、『豊かな自然と共生し、活力と創造があふれるまち』という将来像の実現に向けたまちづくりを推進している。

八尾町の沿革

八尾町には、全地域にわたって石器や土器の出土がみられ、その歴史の古さを教えてくれます。

八尾文化の礎を築いたのは飛鳥時代といわれ、藤原時代には杉原、保内の北方が開拓、鎌倉時代には山地が開拓され、村々も大体は室町時代の末期にできたといわれています。

中心市街地は、桐山城主諏訪左近が竜蟠山（現在の城ヶ山公園）に砦を構えたことに始まり、八尾村の米屋少兵衛が八尾、桐山の二つの村を併合して寛永 13 年（1636 年）に八尾町を町建して今日に至っています。

八尾町は古来から、越中と飛騨との交流の要所になって栄え、富山藩の御納所として重きをなし、蚕種、生糸、和紙等を産し、取り引きが盛んに行われました。

豪華絢爛な曳山と、「風の盆恋唄」で一段と有名になった全国に名高い民謡「越中おわら」は江戸時代の町民文化の最も発達した華麗な面影をいまに引き継いでいる文化財です。

八尾町は、旧八尾町、保内村、杉原村、卯花村、室牧村、黒瀬谷村、野積村、仁歩村、大長谷村の 1 町 8 村が昭和 28 年、昭和 32 年の合併により誕生したものです。

その後、昭和 39 年の井田川総合開発事業の完成とともに、豊かな自然と調和した農工商一体の町づくりに努めてきました。

特に、町の北西部に位置する富山八尾中核工業団地は、富山テクノポリスの拠点として、情報、電子機器関連、医薬品等の様々な企業が

操業するなど北陸最大級の内陸型工業団地として、町の発展に寄与しています。

また、高度情報社会にいち早く対応して、CATV 回線によるインフラ整備として県内初の農村型ケーブルテレビ放送や全国自治体初のインターネット接続サービス事業をおこない、地域コミュニティの醸成を図っています。

更に、CATV 回線を利用した在宅療養支援・健康管理システムを整備し、寝たきりの高齢者をはじめ町民全てが健康で安心して暮らせる町づくりに取り組んでいます

婦 中 町 の 沿 革

婦中町内では、旧石器・縄文時代の遺跡が西部丘陵地帯に点在し、平野部には、高日附遺跡などの弥生時代の遺跡が見られ、婦中町の歴史は紀元前にさかのぼることができます。

紀元 4～7 世紀の古墳時代には、王塚、勅使塚などの多くの古墳が築造され、その後、延喜式内社である鷓坂・速星・熊野・杉原の 4 社を中心に平野部の開拓が進められました。

中世になると、宮川郷などを中心に発展し、14 世紀頃には、神保一族の支配下におかれ、さらに開発が進められました。しかし、南北朝の頃には、比叡山と勢力を競った北叡山各願寺や常楽寺などが焼き払われ、農村生活も極度の混乱にさらされました。

16 世紀末には、前田家の所領となり、藩直轄の牛ヶ首用水開さく事業が始められたほか、杉原野開拓、外輪野開拓など大がかりな新田開発がなされました。

しかし、明治時代以降も、井田川右岸の地区は、しばしば大水害に見舞われ、田畑や家屋の流出した農民の中には、土地を放棄して、北海道や東北・関東地方へ移住する人も少なくありませんでした。

明治 4 年の廃藩置県により、婦負郡は新川郡・砺波郡と合わせて新川県となり、明治 7 年石川県との統合を経て、明治 16 年に富山県が置かれました。明治 22 年の市町村公布とともに、町内に 9 つの村が誕生しました。

昭和 2 年には、飛越線（現：高山線）の開通にともない速星駅が開設され、大日本人造肥料株式会社（現：日産化学工業株式会社）の設

立を契機に、商工業が発展し、都市化が進みました。

その後、昭和 17 年に速星村と鷓坂村が合併し、婦中町が誕生しました。さらに、町村合併促進法に基づき、昭和 30 年に熊野村、宮川村、朝日村と合併し、昭和 34 年に古里村、音川村、神保村を編入合併し、現在の町域が形成されました。

当時の人口は 2 万 4 千人でしたが、平成 5 年には人口 3 万人を突破しました。自然増加は年々減少している中、町内における工業団地への企業立地に伴う就業者の増加や、交通利便性を含めた良好な住環境により、人口の流入が急激に増加した為であります。

現在、本町では「人間と自然が共生する町」「活力と魅力を創造する町」「町民自治を育てる町」をまちづくりの基本理念とし、平成 8 年度を初年度とした婦中町新町民総合計画を実施しています。

21 世紀を迎え、県下最大の町として一層の飛躍を目指し、新たなるまちづくりを推進しています。

山 田 村 の 沿 革

山田村は、富山平野の中央に突出する呉羽丘陵より飛騨山系に連なる牛嶽山麓を南北に貫流する山田川を挟み標高 100 メートルから 1000 メートルの山峡にあります。

近隣市町村とは村の中央部を南北に縦断し富山市に通じる主要地方道富山・庄川線と村の北部を東西に横断する主要地方道砺波・細入線とで結ばれています。

歴史的には、15 世紀末藩政がひかれ、加賀藩の領地に属し、17 世紀には富山藩の山田郷と称していました。明治 22 年市町村制がひかれ「山田村」と命名され、現在に至っています。この間、過疎の波により 4 集落が廃村となりましたが、昭和 47 年の集落再編事業や昭和 53 年からの公営住宅建設事業により、現在 23 集落で形成されています。

村の主要産業は水稻を中心とした農業ですが、農用地開発事業で開畑を造成し、大根、馬鈴薯、花木・切花の産地育成に努めています。また、柿酢、リンゴの特産開発とともに、農産物の生産・加工・販売、さらに体験交流などを組み合わせた総合産業の育成に取り組んでいます。また、昭和 46 年にオープンした村営牛岳温泉スキー場をはじめ、体験農園、多目的広場、宿泊研修施設、豊富な温泉資源等を活用した通年型複合保養地づくりを目指しています。

交流事業として、平成 4 年に誘致した富山市野外教育活動センター「富山市こどもの村」は、市内の小・中学生の素朴な原生活的体験の場、村民との交流の場ともなっています。また、平成 5 年に友好都市提携した大阪府交野市、兵庫県五色町をはじめ、近年は都市から訪れ

る森林ボランティアや情報化をサポートする方たちとの交流を図っています。

生活環境については、下水道の普及率は現在 100%となっており、生活圈道路の拡幅改良を中心に雪に強い村づくりを図っています。また、高齢者生活福祉センターを拠点とした福祉の充実、平成 8 年から取り組んでいる「電脳村構想」の推進及び通信インフラ整備、太陽光・風力等の新エネルギー導入などにより、快適な住環境づくりが進められています。

富山市街地から近距離にある緑豊かな空間、棚田や果樹園、温泉等の資源、さらに IT 基盤を活用して、山田村という地域が価値ある新しい生活空間として生まれ変わることが期待されており、平成 15 年 3 月策定の第 2 次総合計画「やまだ 21 世紀のシナリオ」の将来像「山村ユートピアやまだ」の実現に向け、住民と行政との協働により、未来を創造する人づくり、安心して暮らせる環境づくり、新しい産業の仕組みづくりに取り組んでいます。

細入村の沿革

細入村の歴史は古く、村で暮らした人々のあけぼのをひもとくと、今から1万3千年前の先土器時代に既に人が暮らした痕跡があり、その後の縄文時代の文化を漂わせる土器も村内数カ所から発見されています。

細入村は、富山県の中央南部で岐阜県との境にあり、神通川の西岸に位置した四季折々の渓谷美に恵まれた、自然環境豊かな村としてその歴史をはぐくんできました。西側に連なる1000m前後の山々と東側の神通川にはさまれた僅かな平坦地に集落が点在している細長い地域ですが、この地勢を利用し、また古くから街道が開かれ、越中と飛騨とを結ぶ交通の要所であることから、戦国時代には、この地域に山城が造られ、さらに江戸時代になると富山藩の関所が置かれるなど、政治・経済上の要衝としてもその歴史を刻んできました。

江戸時代の古文書によると、殿様、役人、商人、僧侶、京の医師、江戸相撲の一行、剣術修行の武士など、さまざまな人たちがこの地を通行したとされています。現在は、この関所に関する古文書や資料を収集・展示した猪谷関所館が関所跡近くに建てられ、往時の風情を感じさせてくれています。村の呼び名である「細入村」という名称は、古くからこの地域が細入谷と呼ばれていたことに由来して、明治22年町村制の施行により成立しました。以来、今日に至っても「細入村」という名称は変わらず、110余年の歴史とともに今日に至っています。

昭和5年には、現在の高山線の富山猪谷間が飛越線として開通し、また、現在の神岡線が猪谷駅まで乗り入れるようになり、さらに昭和

9年の富山高山間全線開通により飛越線が高山線となって、鉄道時代の細入村は物資の集積や中継地としても重要な役割を果たしていました。一方、飛騨街道は、昭和28年に県道富山岐阜線が国道に昇格し、昭和32年の庵谷トンネルの開通により、道路の往来、輸送は大幅に増え、現在の国道41号や国道360号の姿に変わっていくこととなります。加えて、岐阜・長野間の安房トンネルの開通などにより、富山県の南の玄関口として飛騨・中京圏のみならず、信州や首都圏との重要な交通ルートになっています。また、細入村の歴史は、神通峡の歴史でもあります。神通峡は、富山県の誇る水資源の代表として、明治40年代から電源開発が行なわれ、昭和20年代の神通川第1・第2ダムの建設などにより、人造湖としてその姿を変えるとともに、クリーンエネルギーの供給源として暮らしや産業の発展に役立ってきました。

細入村の人口は、大規模な電源開発が行なわれた昭和20年から30年代に一時増加したものの、以来減少が続き、平成12年の国勢調査では1,923人となり、昭和40年を100とした指数では、63.9ポイントとなっています。また、年齢構成は、年少人口11.6%、生産年齢人口60.7%、高齢人口が27.7%となっており、少子高齢化も著しく進行しています。

産業面では、総面積の90%が林野であることから、耕地面積が少なく、第1次産業人口の減少は急速で、昭和50年には全体の13.1%だったものが、平成12年には1.9%になり、後継者育成が望まれています。商工業面では、高田アルミ工場が昭和17年に開業し、戦時下の産業として多くの住民が就労しましたが、戦後まもなく閉鎖されました。戦後から昭和30年代初頭までは、電源開発や、鉄道事業、道路

事業などで活気に満ち溢れた時代がありましたが、現在は電気機械業種などの中小規模の工場が数社あるのみで、主に女性の働き場となっているにすぎません。そのため、就労者の多くは、富山市などの近隣市街地へ通勤し、ベッドタウン化が進むにつれ、人口の減少に拍車をかけることとなり、新たな地場産業の開発振興が求められるようになりました。近年、自動車交通の進展により広域交流活動が盛んになったことに着目し、村の自然環境や特産品を利用した観光・レクリエーション施設整備に取り組んだ結果、村が第3セクターで運営する道の駅・観光物産センター[林林]、神通峡岩稲温泉「楽今日館」、割山森林公園「天湖森」の3拠点が多くの立ち寄り客で賑わうようになり、一応の成果をみせております。

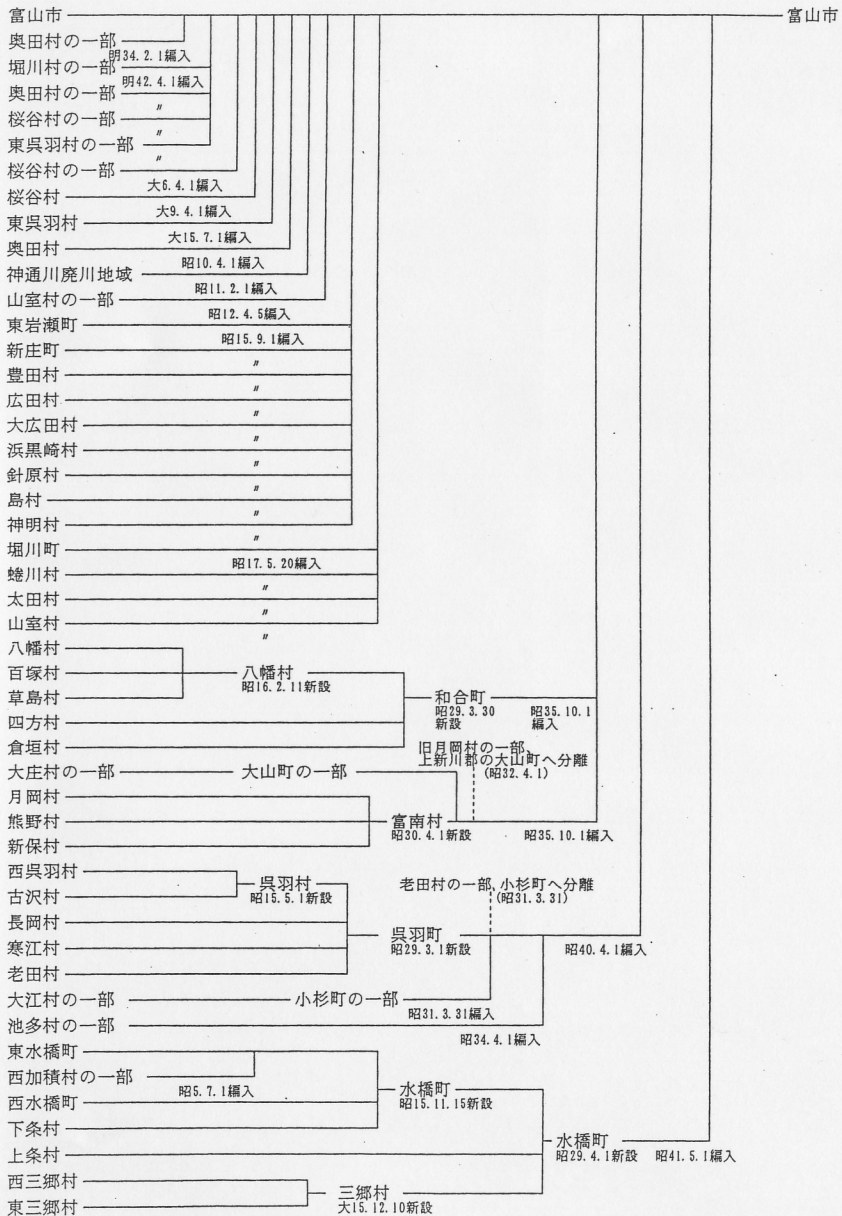
芸術文化の面では、各地区に伝わる獅子舞などのほか、猪谷地区には古くから歌舞伎が盛んで、現在も子供歌舞伎が定期的に上演され、歴史深い円空仏も20数体発見されるなど文化的にも貴重なものが多く残されています。近年は、スポーツの面で富山県漕艇場が本村岩稲地内に整備されたことから、国体などのボート競技会の開催をはじめとして、ボート競技の普及もすすんでいます。また、猪谷の「背斜・向斜」と「横山・楡原衝上断層」は国の天然記念物に指定されており、神通峡が地質の変化に富み、日本列島の大地が変動してきたことを今に伝えています。

永い歴史の中で培われて来た「細入村」という生活空間は、全国的にみて、豊かな緑と水と社会資本に恵まれた、どちらかと言えば快適な生活空間です。この上に生活する全ての方の力によって、さらに豊かで充実度の高い地域生活の創出をめざし、21世紀の今を進んでいます。

具体的には計画年度を平成14年から平成20年までとした第3次総合計画を平成14年3月に策定し、村の将来像を「碧く輝く未来愛郷ほそいり」とし、1.村民の参画で創る未来「愛・安堵・優（I&YOU）の村」、2.皆でささえる福祉「幸齢者が暮らす村」、3.快適な環境を目指して「人と地球に優しい村」、4.自己を高める基盤づくり「夢がかなえられる村」、5.ネットワークで築く産業「e-HOSOIRI郷」の5つの柱を施策大綱として、住む人はもちろん、訪れる人も笑顔で満たされるような、明るい村の将来に向けた諸行政施策の展開を目指しています。

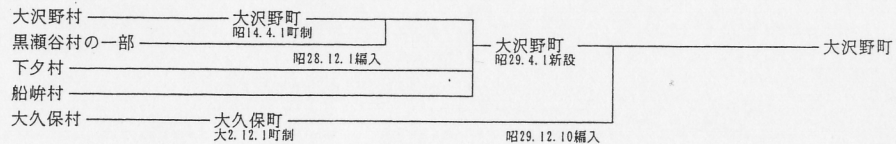
市町村合併の歴史

【富山市】

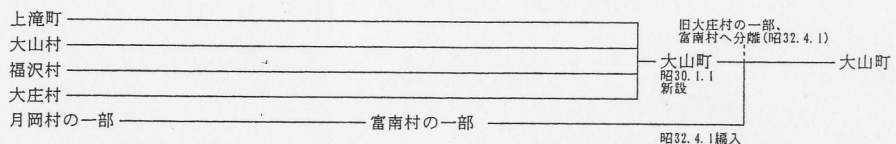


《上新川郡》

【大沢野町】

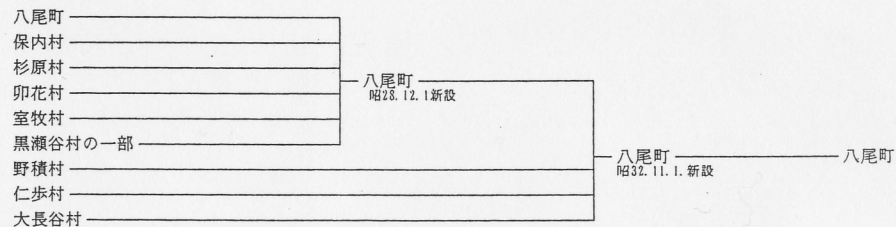


【大山町】

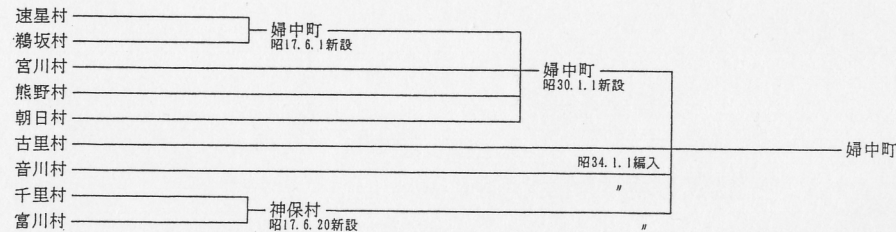


《婦負郡》

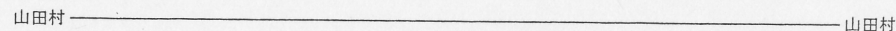
【八尾町】



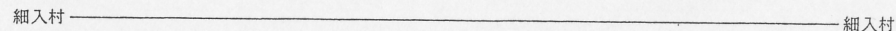
【婦中町】



【山田村】



【細入村】



1、人口・世帯・面積等

(1) 人口・世帯・面積

区 分	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村	計
人 口	325,700	22,642	11,652	22,322	34,528	2,037	1,923	420,804
世 帯 数	118,070	6,817	3,633	6,457	9,760	461	623	145,821
面積 (k m ²)	208.81	74.66	572.32	236.86	68.04	40.92	40.24	1,241.85

(平成12年国勢調査)

(2) 年齢別人口

区 分	富山市		大沢野町		大山町		八尾町		婦中町		山田村		細入村		計	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
年少人口 (0～14歳)	44,976	13.81	3,416	15.09	1,714	14.71	3,097	13.87	5,865	16.99	253	12.42	223	11.60	59,544	14.15
生産年齢人口 (15～64歳)	219,533	67.41	14,911	65.85	7,591	65.14	14,063	63.00	22,418	64.93	1,188	58.32	1,167	60.68	280,871	66.75
老年人口 (65歳～)	60,916	18.70	4,315	19.06	2,345	20.13	5,161	23.12	6,237	18.06	596	29.26	533	27.72	80,103	19.04
不 詳	275	0.08			2	0.02	1	0.01	8	0.02					286	0.06
計	325,700	100	22,642	100	11,652	100	22,322	100	34,528	100	2,037	100	1,923	100	420,804	100

(平成12年国勢調査)

2、就業者人口

分 類	富山市		大沢野町		大山町		八尾町		婦中町		山田村		細入村		計	
	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率	人口	比率
第1次産業	4,031	2.37	524	4.37	289	4.74	596	4.97	668	3.71	122	12.20	18	1.87	6,248	2.84
農 業	3,847	2.26	518	4.32	273	4.47	577	4.81	655	3.64	122	12.20	17	1.77	6,009	2.73
林 業	45	0.03	5	0.04	12	0.20	16	0.13	13	0.07			1	0.10	92	0.04
漁 業	139	0.08	1	0.01	4	0.07	3	0.03							147	0.07
第2次産業	51,976	30.56	5,135	42.86	2,323	38.07	5,696	47.47	7,076	39.27	358	35.80	417	43.39	72,981	33.15
鉱 業	103	0.06	10	0.08	41	0.67	13	0.11	27	0.15	1	0.10	1	0.10	196	0.09
建 設 業	18,873	11.10	1,646	13.74	1,139	18.67	1,947	16.23	2,588	14.36	195	19.50	134	13.94	26,522	12.05
製 造 業	33,000	19.40	3,479	29.04	1,143	18.73	3,736	31.13	4,461	24.76	162	16.20	282	29.35	46,263	21.01
第3次産業	113,049	66.47	6,311	52.68	3,490	57.19	5,697	47.47	10,265	56.98	516	51.60	524	54.53	139,852	63.53
卸・小売業・飲食店	43,037	25.30	2,085	17.40	1,084	17.76	1,830	15.25	3,505	19.45	96	9.60	168	17.48	51,805	23.53
金融保険	5,570	3.27	221	1.85	121	1.98	188	1.57	370	2.06	8	0.80	15	1.56	6,493	2.95
運輸通信	8,466	4.98	554	4.62	318	5.21	465	3.88	944	5.24	42	4.20	45	4.68	10,834	4.92
電気ガス	1,880	1.11	213	1.78	87	1.43	92	0.77	143	0.80	5	0.50	11	1.15	2,431	1.11
サービス	47,675	28.03	2,925	24.42	1,686	27.63	2,767	23.05	4,769	26.47	317	31.70	243	25.29	60,382	27.43
不 動 産	1,475	0.87	35	0.29	24	0.39	22	0.18	56	0.31	1	0.10			1,613	0.73
公務（他に分類されないもの）	4,946	2.91	278	2.32	170	2.79	333	2.77	478	2.65	47	4.70	42	4.37	6,294	2.86
分類不能	1,026	0.60	11	0.09			11	0.09	8	0.04	4	0.40	2	0.21	1,062	0.48
総 数	170,082	100	11,981	100	6,102	100	12,000	100	18,017	100	1,000	100	961	100	220,143	100

（平成12年国勢調査）

3、地域経済

(金額：千円)

区 分	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村	計
農業粗生産額	9,036,000	1,441,000	998,000	1,921,000	2,397,000	324,000	45,000	16,162,000
農業就業人口	19,933	3,179	1,711	577	4,325	122	79	29,926
1人当たり農業粗生産額	453	453	583	3,329	554	2,656	570	540
製造品出荷額	688,704,030	69,773,630	22,080,080	113,392,380	170,703,740	42,120	1,790,380	1,066,486,360
従業者数	27,353	2,958	655	3,516	5,891	12	125	40,510
1人当たり製造品出荷額	25,178	23,588	33,710	32,250	28,977	3,510	14,323	26,326
商品販売額	2,228,187,510	20,457,840	5,512,000	17,238,000	33,321,000	420,630	913,850	2,306,050,830
従業者数	44,346	1,319	399	1,134	1,743	35	88	49,064
1人当たり商品販売額	50,245	15,510	13,815	15,201	19,117	12,018	10,385	47,001

農業粗生産額は、「富山農林水産統計年報 農林編）平成13年～平成14年」による。

製造品出荷額等は「平成12年工業統計調査」による。

商品販売額は「平成11年商業統計調査簡易調査」による。

4、土地利用

(面積：ha)

区 分	富山市		大沢野町		大山町		八尾町		婦中町		山田村		細入村		
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	
都市計画区域	20,881	100.0	7,098	100.0	1,605	100.0	2,560	100.0	2,148	100.0	-	-	-	-	
市街化区域	6,777.6	32.46							452.7	21.08	-	-	-	-	
用 途 地 域	第1種低層 住居専用地域	1,146.2	5.49			24.3	1.51	35.3	1.38	103.3	4.81	-	-	-	-
	第2種低層 住居専用地域											-	-	-	-
	第1種中高層 住居専用地域	1,100.2	5.27	126.0	1.78	33.0	2.06	93.9	3.67	144.8	6.74	-	-	-	-
	第2種中高層 住居専用地域	538.5	2.58	12.0	0.17	10.0	0.62	11.7	0.46			-	-	-	-
	第1種住居地域	1,434.2	6.87	144.0	2.03	51.0	3.18	126.0	4.92	92.7	4.32	-	-	-	-
	第2種住居地域			4.0	0.06			10.2	0.40			-	-	-	-
	準居住地域									28.2	1.31	-	-	-	-
	近隣商業地域	313.9	1.50	8.6	0.12	8.5	0.53	20.0	0.78	21.6	1.01	-	-	-	-
	商業地域	351.2	1.68	8.2	0.12	3.2	0.20	10.0	0.39	6.6	0.31	-	-	-	-
	準工業地域	1,087.5	5.21	62.0	0.87	8.7	0.54	39.1	1.53			-	-	-	-
	工業地域	434.9	2.08	100.0	1.41			2.8	0.11	55.5	2.58	-	-	-	-
	工業専用地域	371.0	1.78					190.0	7.42			-	-	-	-
市街化調整区域	14,103.4	67.54							1,695.3	78.92	-	-	-	-	

(平成15年4月1日現在)

5、財政状況

(単位：千円)

区 分	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村	
決算 収 支 等	歳入総額	121,384,661	9,091,165	6,081,924	13,054,565	12,402,746	3,522,167	2,044,573
	歳出総額	120,091,046	8,784,287	5,611,466	12,682,445	11,778,802	3,317,044	1,963,317
	経常収支比率	79.6	78.2	75.9	79.0	72.8	79.2	87.80
	公債費比率	14.1	19.2	13.4	20.1	15.9	20.4	9.3
	起債制限比率	9.4	11.0	10.1	13.0	8.7	12.5	7.84
	財政力指数	0.80	0.51	0.52	0.45	0.66	0.10	0.23
歳入構造								
	市町村税	56,990,604	2,585,885	2,067,015	2,681,786	4,840,212	136,529	316,165
	地方交付税	12,112,755	2,461,510	1,691,685	3,337,988	2,068,972	1,675,172	863,083
	地方債	10,350,100	1,065,400	339,300	2,417,000	1,141,700	571,040	348,100
歳出構造								
	人件費	24,900,535	1,941,767	1,447,243	2,294,996	2,584,443	355,659	316,199
	扶助費	10,265,925	329,624	265,785	299,878	576,357	23,329	44,116
	公債費	15,041,660	1,291,875	640,133	2,047,096	1,803,978	797,436	327,210
	物件費	13,769,254	945,352	665,909	1,167,134	1,173,363	295,139	188,216
	補助費等	13,971,494	413,903	375,292	609,662	678,609	110,666	207,272
	繰出金	5,406,431	667,291	469,088	560,548	651,146	272,860	168,317
	普通建設事業費	24,422,655	2,670,124	984,688	4,213,834	2,966,441	1,176,742	606,111
	積立金現在高	12,178,740	2,263,400	1,566,290	1,644,179	2,142,071	1,247,242	795,988
	地方債現在高	139,901,294	10,605,231	5,449,179	19,855,940	15,357,014	4,329,830	3,001,674

積立金現在高は、財政調整基金及び減債基金、その他特定目的基金を含む。

(平成13年度地方財政状況調査に基づく数値)

6、主要公共施設の状況

項目	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村
(1)道路の状況 (H15.4.1 現在)							
市町村道実延長(m)	1,828,407	185,518	98,118	340,447	358,148	92,690	34,207
舗装済延長(m)	1,694,901	166,133	87,452	256,010	323,028	41,494	31,176
舗装率(%)	92.7	89.6	89.1	75.2	90.2	44.8	91.1
(2)都市公園の状況 (H15.3.31 現在)							
都市公園箇所数	686	24	3	8	42		
公園総面積(m ²)	4,468,400	412,548	137,751	294,000	127,470		
1人当たり公園面積(m ²)	13.9	18.2	13.8	15.6	3.6		
(3)公営住宅等の状況 (H15.4.1 現在)							
市町村営住宅(戸)	3,556	83	191	188	206	53	30
(4)上水道の状況 (H15.3.31 現在：簡易水道を含む)							
給水人口	320,166	22,334	11,736	21,243	32,475	1,964	1,841
普及率(%)	98.6	98.6	99.6	93.9	91.5	98.6	99.9
(5)下水道の状況 (H15.3.31 現在：公共下水道・特定環境保全公共下水道・農業集落排水・地域下水道を含む)							
現在処理人口	273,937	14,804	11,059	9,951	12,000	1,907	328
処理区域面積(m ²)	63,141,700	4,440,000	3,167,500	1,632,000	3,090,200	710,000	140,000
普及率(%)	89.4	65.4	93.9	43.9	33.8	100	17.2
(6)老人福祉施設の状況 (H15.4.1 現在：公立・私立を含めた市町村区域に所在する施設数)							
養護老人ホーム	2						
特別養護老人ホーム	12	2	1	1	2		
軽費老人ホーム	4	1(建設中)					
老人サービスセンター	42	4	1	1	5	1	1

項 目	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村
(7)保育園の状況 (H15.5.1 現在)							
市町村立保育園							
箇所数	42	6	3	8	9	1	2
定員	4,156	565	230	780	1,020	60	70
現在入園数	4,069	519	207	701	961	49	56
私立保育園 (認可のみ)							
箇所数	15		1		1		
定員	2,020		90		120		
現在入園数	2,142		90		126		
(8)幼稚園の状況 (H15.5.1 現在)							
市町村立幼稚園							
箇所数	9	2	4	1	1		
定員	1,330	210	385	70	80		
現在入園数	385	213	132	28	66		
県立幼稚園							
箇所数							
定員							
現在入園数							
私立幼稚園							
箇所数	27			1	1		
定員	5,885			100	200		
現在入園数	3,658			73	183		

項 目	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村
(9)小学校の状況 (H15.5.1 現在)							
市町村立小学校							
学校数	49	4	4	6	7	1	1
学級数	623	49	33	48	87	6	6
児童数	16,975	1,290	729	1,161	2,341	83	112
国立小学校							
学校数	1						
(10)中学校の状況 (H15.5.1 現在)							
市町村立中学校							
学校数	18	1	1	2	3	1	1
学級数	250	20	11	19	36	3	3
生徒数	2,864	681	353	652	1,188	64	56
国立私立中学校							
学校数	1						
(11)高等学校の状況							
市町村立高等学校							
学校数							
学級数							
生徒数							
県立私立高等学校							
学校数	17	1	1	1	1		

項 目	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村
(12)その他の公共施設の状況(平成14年度市町村公共施設状況調査表より)							
市町村立施設							
児童館	6	1			2	1	
公会堂及び市民会館	6	2	1	1	1	1	
公民館	49	7	9	11	9	1	2
図書館	16	1	1	3	1	1	1
博物館等	4		2	2	1	1	
体育館	5	4	4	2	1	1	
陸上競技場		1					
野球場	1	1		1			
プール	8	1	2	1	1	1	2
病院	1						
診療所	1			1			
青年の家・自然の家等	1						
市町村立以外							
児童館							
会館等	2						
図書館	3						
博物館	8						
体育館	7						
野球場	3				1		
プール	1	1					
病院	40	1	1	1	4	1	
診療所	451	15	5	8	26		

7、一部事務組合の状況

組 合 名	構 成 団 体 名	共 同 処 理 事 務
富山地区広域圏事務組合	富山市、滑川市、立山町、上市町、大沢野町、 <u>大山町</u> 八尾町、婦中町、 <u>山田村</u> 、 <u>細入村</u> 、舟橋村	広域市町村計画、粗大ごみ処理場、ごみ焼却場、公園 コミュニティセンター、第2次救急医療体制
三郷利田用水市町村組合	富山市、立山町、舟橋村	用水の水利
細入村大沢野町学校組合	<u>細入村</u> 、 <u>大沢野町</u>	神通碧小学校及び楡原中学校の設置、管理及び教育事務
常願寺川右岸水防市町村組合	立山町、 <u>富山市</u> 、舟橋村	水害予防
富山県中央衛生処理組合	<u>大沢野町</u> 、 <u>富山市</u> 、 <u>大山町</u> 、 <u>八尾町</u> 、 <u>細入村</u>	し尿処理
富山県中部衛生センター組合	立山町、 <u>富山市</u> 、上市町	し尿処理
婦負斎場組合	<u>婦中町</u> 、 <u>八尾町</u> 、 <u>山田村</u>	斎場及び墓地公園の設置・管理
富山・大山国民宿舎事務組合	<u>大山町</u> 、 <u>富山市</u>	国民宿舎の設置・管理
富山県市町村総合事務組合	<u>富山市を除く 34 市町村</u> 、25 一部事務組合 南砺広域連合	常勤職員の退職手当 非常勤消防団の公務災害補償、消防作業従事者等の公務災害補償、非常勤消防団員の退職報償金、消防吏員及び非常勤消防団員の賞じゅつ金 町村等の議会議員及び行政委員会委員等の公務災害補償税の滞納処分に関する事務
富山県市町村会館管理組合	<u>全市町村 (3 5)</u>	富山県市町村会館の維持管理
富山広域農業共済事務組合	<u>大沢野町</u> 、 <u>大山町</u> 、 <u>八尾町</u> 、 <u>婦中町</u> 、 <u>山田村</u> 、 <u>細入村</u> <u>富山市</u>	農業共済に関する事務
上婦負介護保険事務組合	<u>大沢野町</u> 、 <u>大山町</u> 、 <u>八尾町</u> 、 <u>婦中町</u> 、 <u>山田村</u> 、 <u>細入村</u>	介護保険に関する事務

(平成15年4月1日現在：富山市・大沢野町・大山町・八尾町・婦中町・山田村・細入村が関係する一部事務組合)

8、文化など

項目	富山市	大沢野町	大山町	八尾町	婦中町	山田村	細入村
伝統工芸	とやま土人形 木象嵌 富山獅子頭			越中和紙			
伝統芸能	さんさい踊り 岩瀬まだら 獅子舞	獅子舞(24地区) 猪谷百万石行列	薬師太鼓 獅子舞(2地区) 亀谷鉦掘唄	越中おわら 獅子舞(39地区)	熊野神社稚児舞	獅子舞(10地区) 赤目谷豊年踊り	獅子舞(7地区) 子供歌舞伎(猪谷地区)
農産品	呉羽梨、カラー じねんじょ 千石豆 富山トマト	いちじく、ねぎ 切花(小菊) らっきょう	みょうが 米、椎茸	風の舞(米) 白ねぎ タラの芽等山菜 椎茸、おわら西瓜	朝日すいか ぶどう 早生大かぶ	馬鈴薯、大根 切花(小菊) 花木(啓翁桜) 柿酢	らっきょう
まつり	全日本子どもコンクール 岩瀬曳山車祭 水橋橋まつり 富山まつり おわら踊りの夕べ とやま湾味覚市 とやまノピアード	猿倉山フェスティバル 春日温泉まつり 大沢野町花火大会 お鍬さままつり 高砂山願念坊まつり ごへいまつり 小羽ふれあいそばまつり いきいき健康フェスティバル	ごんべ祭り 佐々成政戦国時代祭り 飛越交流サマーin有峰 立山山麓かまくら祭り	八尾曳山祭り おわら風の盆 風の盆前夜祭 坂の町アート冬浪漫 清流フェスティバル ごんだ祭り 卯花フェスティバル 大長谷そばまつり 田楽ごう汁まつり 仁歩そば祭り	ふちゅう曲水の宴 売比河鵜飼祭 安田城月見の宴 婦中っ子まつり 丘の夢牧場ふれあいフェア	牛岳いもまつり 牛岳スノーフェスタ	らっきょう祭り 細入まつり 重忠まつり